

令和7年度入学式式辞

新入生の皆さん、そして保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。

新入生の皆さん、今日は皆さんが新たな一歩を踏み出す大切な日です。そして、私たち教職員一同も、皆さんと一緒にこの大湊高校での学校生活を歩んでいけることをとても楽しみにしています。

皆さん一人ひとりには、無限の可能性が秘められています。そして、その可能性を花開かせるための教育プログラムが、この大湊高校には準備されています。

昨年度、本校は「キャリア教育優良校」として文部科学大臣表彰を受ける快挙を成し遂げました。「キャリア教育」というのは、「一人前の社会人になるための教育」です。日本には約 4,800 校の高校がありますが、その中の 35 校だけがこの表彰を受けたのです。

本校は総合学科といって、普通科高校よりもより現実の社会を意識しながら進路選択をすることができるような工夫がこらされています。学校外の職業人や専門家、文化人を招いての講演や授業、また生徒の皆さんが学校外の地域社会に出て行って、実際の職場を見たり、体験したりする機会もあります。そして、それらを踏まえて分かった地域や日本の課題を解決するための方法を考え、実際に行動する「探究活動」を行っています。

皆さんの先輩たちの中には、さらなる視野の拡大と学びの機会を求め、学校外で開催されているイベントやボランティア活動、講演会等にも参加しています。これは「そとまなび部」略称「そとまな」といって、参加自由の自主的活動なのですが、これに参加した本校生徒は昨年度なんと約 400 人に及んでいます。

更に、先輩たちの活動は、日本を飛び出して海外にまで広がっていることをご存じでしょうか。

ある先輩は昨年度、海外のエネルギー事情を学ぶために、12 日間にわたってスウェーデン、フランスを訪問しています。

また、チームで台湾に赴き、防災やジオパークに関する学びに加え、青森の文化を広める充実した活動を行った先輩たちもいます。今年度は、これまでの下北及び日本の防災についての活動・研究成果を、世界が注目する大阪・関西万博で発表することになっています。

御存じの通り、本校は部活動も盛んです。大湊高校と言えば、「下北から甲子園」を合い言葉としている硬式野球部、インターハイ・国スポ出場常連、オリンピック選手も輩出している強豪・陸上競技部のイメージがあるかと思いますが、このほかの運動部、文化部も、皆ものすごくがんばっていて、中でもサイエンスクラブは、昨年度県高校総合文化祭自然科学部門で最優秀賞を受賞し、今年香川県で行われる全国大会に出場します。

部活動で培われる人間力、また友情には大きなものがあります。実際に、高校の思い出の大きな部分を部活動が占めていたり、大人になってからも部活動の仲間同士の深い絆が、人生の支えになっていたりします。

そうした高校でのさまざまな学びの一つの総括として、進路志望の達成があるわけですが、昨年度の就職達成率は、ほぼ100パーセント、進学達成率も100パーセント、難関である国公立大学にも12人進学という実績を収めています。

この成果は、生徒、教職員の努力だけで成り立っているものではありません。それを支えてくださる保護者の皆様、地域の皆様、卒業生の皆様の総力の上にあります。全ての歯車がかみ合い、大湊高校は今、大きな盛り上がりを見せているところです。

新入生の皆さんには、この大湊高校での生活を通して、自分を信じ、努力し、挑戦する力を養ってほしい。皆さんは若いので、失敗することもあるかもしれません。困難に直面したとき、思うようにいかない時もあるかもしれません。しかし、それを乗り越える力を、ここで身につけましょう。この学校生活が、皆さんにとって希望に満ちたものとなり、中学校の時以上に「頑張ろう」と思える日々となることを願っています。

さあ、今日が新たなスタートです。これからの3年間で、人生の中で最も希望に満ち、充実したものとなるよう心から願っています。一緒に素晴らしい高校生活を作り上げましょう。

ようこそ、大湊高校へ。

令和7年4月7日
青森県立大湊高等学校
校長 伊藤 文一